

何を目的に校務情報化を進めるか？

校務情報化の目的として従来から挙げられている教職員の校務の軽減化・効率化に加えて、この効果の付加価値とも言える「児童生徒に対する教育の質の向上」や「学校経営の改善と効率化」などの教育活動の質の改善が重要な目的となります。さらに、児童生徒の個人情報の取り扱いに配慮した情報セキュリティの確保や、情報共有・情報発信による保護者や地域との連携が重要な目的として挙げられます。

校務の軽減と効率化

校務にかかわる情報を電子化し、共有できるようにしておく、同じ内容を何度も手書きで転記したり、その都度ワープロで文書を作成したりする手間を省くことができます。

また、公文書のやり取りをネットワークを介して行うことにより、紙の文書のやり取りの手間もなくなり、決裁などの手続きもスムーズに実施できるようになります。

教育活動の質の改善

児童生徒に対する教育の質の向上

- 児童生徒に接する時間が増加
- 教材等の共有化で授業が充実
- 複数の教師間での学習者情報の共有化などにより、教育の質を向上させることができます。

学校経営の改善と効率化

- 教職員間での情報共有化による共通理解の促進
- 学校の現状の把握・分析の実施
- 電子決裁システムの導入などにより、学校経営の改善と効率化を図ることができます。

情報セキュリティの確保

近年、情報の流出や消失が大きな社会問題となっています。校務を情報化すれば、セキュリティの確保された安全なサーバー上で情報を一元管理できるので、このようなリスクを大幅に軽減することができます。

保護者や地域との連携

保護者との情報共有の促進

Webページや電子メールなどにより、学校の理念や教育方針、具体的な教育活動の内容などを情報発信することができます。

児童生徒や地域の安全・安心の確保

不審者情報などを保護者にメール配信したり、ICカードを利用した登下校状況の把握などに情報システムを活用できます。

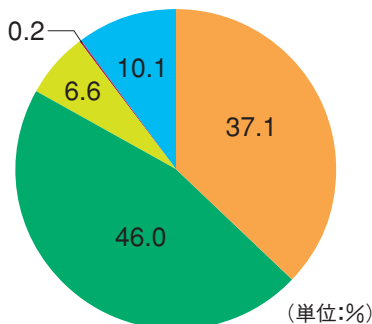
地域への情報公開・説明責任の明確化

Webページなどの情報公開ツールを活用し、地域へ情報公開することができます。



校務情報化の必要性は認識されている

校務情報化の必要性 (学校に対するアンケート)



学校、教育委員会ともに、大多数が校務情報化を「是非必要である」「必要である」と答えています。このことから校務情報化の必要性は十分に認識されていることがうかがえます。

- 是非必要である
- 必要である
- どちらともいえない
- 必要ではない
- 無回答

校務情報化の必要性 (教育委員会に対するアンケート)

